

石川工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	第2 外国語（中国語）	
科目基礎情報							
科目番号		20081		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		環境都市工学科		対象学年		5	
開設期		通年		週時間数		2	
教科書/教材		教科書：『キャンパスライフ中国語』改訂新版 荒川清秀・周関・塩山正純・中西千香 白帝社					
担当教員		関 泉水					
到達目標							
1.ピンインに従って正確に発音できる 2.基本単語を覚え、読む・書く・話す、など活用できる 3.文の基本構造を覚え、読む・書く・話す、など活用できる 4.簡体字を正確に書けるようになる 5.音声のみで、単語や文が理解できるようになる							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 到達目標1・4		全てのピンイン表記を正確に発音できる。簡体字を正しく書くことに慣れている。		大部分のピンイン表記を正確にテンポよく読むことができる。漢字の頻出部首を簡体字で正確に書ける。		ピンイン表記を間違えて発音したり、言えても時間がかかる。簡体字をしばしば書き間違える。	
評価項目2 到達目標2・3		単語及び基本文をすべて正確に理解し、自信をもって活用できる。		単語及び基本文を理解し、ほぼ間違いなく表現できる。		単語及び基本文の理解が不十分で、特に語順の間違いが目立つ。	
評価項目3 到達目標5		教科書に出てくる単語や文章を、音声のみでも理解できる。		教科書に出てくる単語や文章を、音声のみでも、何を言っているのかほぼわかる。		中国語の音声のみでは、言っている内容がわからない。	
学科の到達目標項目との関係							
本科学習目標 1 本科学習目標 3 創造工学プログラム C1							
教育方法等							
概要		本講座により、国際的なニーズが高まる「中国語」を学ぶことは、技術者として、技術分野等の第一線で活躍する機会を広げるものである。そのためにまず中国語の基礎学力を身に着けるとともに、その背景にある中国語圏の社会をや文化への理解を深める。 その結果、幅広い視点から自らの立場を知り、国際社会を多面的に考えることができるようになることを、目標とする。					
授業の進め方・方法		〔授業の進め方〕講義・演習・小テスト・課題により行う。 1. ピンイン表記の発音練習をする。 2. 新出単語を覚えると同時に、既出単語の復習を行う。 3. 基本文の構造を理解する。 聞く・書く・読むを繰り返して、自ら表現できるように練習する。 4. 簡体字を覚える。 5. 教科書付随の音声資料を活用し、耳で理解できるようにする。 〔事前事後学習など〕レポートや小テストは、必ず提出すること。					
注意点		成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験、期末試験、学年末試験を実施する。 前期成績：中間試験（40％）期末試験（40％）演習実技等（20％） 後期成績：中間試験（40％）学年末試験（40％）演習実技等（20％） 学年末成績：前期成績（50％）後期成績（50％）					
テスト							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	発音		"声調（4声）の練習をする 単母音と複母音、鼻母音、そり舌母音を練習する。"		
		2週	発音		子音を学ぶ。声調と母音を組み合わせ、すべての音節を発音できるように練習する。		
		3週	第1課：モノの所有者を尋ねたり答えたりする。名前や身分を伝える。		代名詞、指示代名詞と所有の「的」を使って、「これは〇〇だ」「あれは××の〇〇だ」と受け答えができるようになる。		
		4週	第1課の復習と学習活動 第2課：日時や曜日を学ぶ。相手との都合を調整して、約束の日時の相談をする。		周囲の人の誕生日を聞いてわかる。待ち合わせの時間を相談できる。買うものを聞いたり答えたりできる。		
		5週	第2課の復習と学習活動		周囲の人の誕生日を聞いてわかる。待ち合わせの時間を相談できる。買うものを聞いたり答えたりできる。		
		6週	第3課：相手に理由を問う文を学ぶ。数や時間を尋ねたり、どこへ行くのか聞く。		何個買う、何冊持っている、など、量の表現ができるようになる。疑問詞疑問文を使って、「はい・いいえ」以外の受け答えができるようになる。		
		7週	第3課の復習と学習活動 第4課：ある場所への行き方を尋ねたり、ある場所を説明したりする。		自分の家がどこにあって、ここから遠いか近い、か、言えるようになる。家への道順を簡単に説明できるようになる。		
		8週	これまでの復習		発音並びにこれまで習った内容を総復習する。		
	2ndQ	9週	第4課の復習と学習活動		学校の中にある施設、ない施設を表現できる。今どこにいるのか伝えることができる。		

		10週	第5課：値段を尋ねる表現を学ぶ。	買い物の表現ができるようになる。形容詞述語文を習って、品物の良し悪しを伝えることができるようになる。「私は～と思う」が言える。「どのくらいの時間」学んだか、などが言える。「してみたいこと」「してはいけないこと」が言える。
		11週	第5課の復習と学習活動 第6課：実現・完了・変化など、中国語のアスペクトを学ぶ。病状を尋ねたり答えたりする。	「食べた・飲んだ」「大人になった・暑くなった」などが言えるようになる。「給」を使って、誰かに何かをあげることができる。
		12週	第6課の復習と学習活動	さまざまな動作が行われたのか聞いたり、答えたりできるようになる。何を買ったか尋ねることができる。病状について話せる。
		13週	第7課：自分の意見を言う。相手の意見を尋ねる。してみたいことを受け答える。	「私は～と思う」と意見が言える。相手に「～してはいけない」と禁止表現を使うことができる。時間量を表現できる。
		14週	第7課の復習と学習活動 第8課：近未来表現を学ぶ。祝祭日や季節の行事を覚える。	もうすぐくるイベントを相手に伝えることができる。二つの選択肢から一つを選ぶ表現ができる。
		15週	"第8課の復習と学習活動 これまでの総復習"	総復習
		16週		
後期	3rdQ	1週	前期の復習 第9課：動作の持続表現や結果表現を習得する。どこで何をするのかを表現する。	前期で覚えたことを総復習する。誕生日を祝うことができる。あいてにどこで何をしているのか、尋ねることができる。
		2週	第9課の復習と学習活動	ある動作をした結果がどうだったのか、受け答えができる。反語表現「～ではないですか（そうですよね）」を覚える。
		3週	第10課：過去の出来事について、尋ねたり答えたりする。二つのものを比較する。	実現したことについて、「どのように」実現したのかと言える。「～したことがある・ない」が言える。
		4週	第10課の復習と学習活動 第11課：進行形を学ぶ。動作の向こう方向を表現する。習得したものが言える。	今何をしているのか受け答えができる。車の運転やスポーツ、楽器などができるかできないかを表現できるようになる。
		5週	第11課の復習と学習活動	天気のことを聞いたり答えたりできる。「～だろう・～のはずだ」と可能性について述べることができる。
		6週	第12課：能力や外的要因によって、ある動作ができるできないを表現する。仮定表現を学ぶ。	「見える・見えない」「聞いてわかる・わからない」などが言える。「もし～なら・・・」と仮定の表現ができる。
		7週	第12課の復習と学習活動	「彼はきっと忙しいのでしょうね」など、自分の予想や憶測を伝えることができる。2つの動作を同時に行う表現が言える。
		8週	これまでの復習	今まで習ったことの総復習をする。
	4thQ	9週	第13課：人から伝え聞いたことを相手に言う。相手や自分の能力について尋ねたり答えたりする。	伝聞表現「（聞くとところによると）～だそうです」が言える。使役文を使って、誰かが誰かに何かをさせる、と伝える。
		10週	第13課の復習と学習活動	「〇〇は～をするのがどの程度だ」と、誰かの能力について述べることができる。「～するとすぐに～だ」が言える。
		11週	第14課：興味のあることを尋ねる。あるものに対して評価する。	「把」構文を使って、あるものに対してどんな処置を行ったのかと言える。「使いやすい・覚えやすい」などの表現ができる。
		12週	第14課の復習と学習活動	相手に興味のあることを尋ねたり、いつ何をするのか聞いたりできる。色々なスポーツ種目を中国語で言える。
		13週	第15課：近い将来の予定を言う。いくつかの動作を時間の流れに沿って、順を追って説明する。	「将来～になるつもりだ」「春休みは～する予定だ」などが言える。「まず～して、それから～する」など、動作の順序を説明できる。
		14週	第15課の復習と学習活動	受け身文を使って、「盗まれた」「蚊に刺された」「先生に叱られた」などが言えるようになる。
		15週	これまでの復習	これまで学んだことを総復習する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	その他	合計	
総合評価割合		80	20	100	
基礎的能力		80	20	100	
専門的能力		0	0	0	
分野横断的能力		0	0	0	